

第30回 APEC 閣僚会議 議長声明のポイント

平成 30 年 11 月 23 日

外務省・経済産業省

- この議長声明は、APEC エコノミーの太宗の（prevailing）見解に関する議長の判断を反映したもの。
- 貿易障壁といった一層顕著なリスクと不確実性の存在を認識。
- 自由で開かれた貿易及び投資という APEC の目標達成のための課題解決と取組へのコミットメントを再確認。
- ルールに基づく枠組をもたらず、十分に機能する WTO を支持。既に存在又は顕在化しつつある世界的課題に対処するために必要な WTO 改革を支持。あらゆる不公正な貿易慣行を含む保護主義と闘う。
- 自由で開かれた貿易・投資に関するボゴール目標達成へのコミットメントを改めて強調。

2018年のAPECの優先課題への支持

- 質の高いインフラの重要性を再確認。インフラ開発・投資の質ガイドブック改訂及び水インフラの質ガイドライン作成を歓迎。
- FTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）のビジョンを想起。質の高い包括的な自由貿易協定に参加する能力向上を進める。
- 情報及びデータの自由な流通を正当な国内政策目的を認めつつ可能とすることの重要性を強調。デジタル貿易促進のためのビルディングブロック特定や、データ利活用ビジネスの現状などデジタル経済をより理解するための調査の推進を指示。
- 女性の経済的エンパワーメント及びジェンダー平等にコミット。
- 構造改革が果たす必要な役割を引き続き認識。
- 質の高いインフラを推進するための長期計画策定の慫慂等に焦点をあてた本年の APEC 経済政策レポート（AEPR）を歓迎。

今後に向けて

- 新しいAPEC 事務局長の選出を歓迎。2019年チリAPECの準備を歓迎。

附属書：非関税措置に関する横断的な原則